水材

三村明夫 新日本製鉄(株) 代表取締役会長



みずむら・みなえ/東京生まれ。12歳で家族と共に渡米。 当初アメリカに馴染めず、改造社版『現代日本文学全集』(全 63巻)を読んで少女時代を過ごす。イエール大学を卒業し(仏 文専攻)、同大学院博士課程修了後に帰国。のちに創作の傍 ら、プリンストン大学などで日本近代文学を教える。著書に、 『續明暗』(1990年、芸術選奨文部大臣新人賞)、『私小説 from left to right』(95年、野間文芸新人賞)、『本格小説』(2002年、 読売文学賞)、『日本語が亡びるとき―英語の世紀の中で』(08 年、小林秀雄賞)、『日本語で書くということ』『日本語で読む ということ』(共に09年)などがある。

まな視点から、現在の日本を取り巻く危機と今後の進むべき道についてお話を伺った。 質で芳醇な日本語による小説や評論を発表し続けている、作家の水村美苗氏。2008年に発刊され 夏日漱石の未完に終わった小説『明暗』の結末を描いた『續明暗』をはじめ、日本近代文学を生んだ高 活を経験され、英語やフランス語にも堪能な水村氏をお招きし、言語・文化・教育・経済などさまざ て、日本語の将来に対する強い危機感を訴えている。今年の新春会長対談では、 た話題作『日本語が亡びるとき』では、英語が普遍語としてその地位を占めるグローバル時代にお 20年を超える海外生

英語が広がる時代の中で次第に大きく なった。日本語が亡びる、危機感

どこから出てきたのでしょうか ています。まず、、日本語が亡びるとき、と命名した危機感は 談は、私自身の知的好奇心を満足させる絶好の機会だと考え てを理解できない、奥深い内容でした。その意味で今日の対 説の醍醐味を堪能しましたが、各界から大きな反響のあった もの水村さんの著書を拝読しました。『本格小説』では物語小 『日本語が亡びるとき』は、一度読んだだけではなかなかすべ 作家デビュー作となった『續明暗』をはじめ、いくつ

水村 「亡びる」という言葉自体は夏目漱石の『三四郎』から

のではないかという危機感はいよいよ大きくなりました。 日本語が、話し言葉、としては残っても、日本人の精神世界や ネットも登場し、英語がいよいよ重要になる。このままでは た日本語のレベルの格差を感じ続けました。そこへ、インター 日本語の作家になろうと帰国してからも、今日本で使われて く手紙などの語彙の乏しさ、稚拙さを見て、唖然としました。 学に入学したときにボストンに行きました。そのとき、ハー 昭和元年に出版された『現代日本文学全集』を読んで育ち、大 情緒を豊かに表現する、書き言葉、としての輝きを失っていく いる日本語と、近代日本文学を通じて自分が慣れ親しんでき バードなどにいる、いわゆる秀才の日本人大学院生たちの書 した。12歳で家族と渡米したあとは、日本が恋しくて、家で の引用(※1)ですが、危機感は昔から少しずつ膨らんでいきま



筑摩書房、2008年) 斬新な切り口で伝えている。 (『日本語が亡びるとき―英語の世紀の中で』

を戒め、「日本はやがて亡びるね」と言った が、日露戦争の勝利に酔う当時の日本人 言葉からの引用 (※1)『三四郎』の中に出てくる広田先生

三村 家を目指そうとされなかったのですか。 米国で学び生活するという環境の中で、なぜ英語の作

学の聖典 (canon) を持つ珍しい国なんです。当時は、 りませんでした。そうした事実が、呪い、のように私を縛って も韓国にもインドにも、 在していたからです。日本は非西洋国でありながら、 持っておらず、英語の優位性を理解していなかったのですね。 二つには、日本には全集を組めるほどの近代文学がすでに存 普通のサラリーマンの家庭でしたので、世界的鳥瞰図を 一つは無知だったからです。財閥の子弟ならいざ知ら 日本のような確固たる近代文学はあ 中国に 国民文

した。 ど、日本文学の歴史性を常に意識して執筆するようになりま 味や、さらには日本語とは何か、それはどう成立したのかな 英語で書いていたらと考えるうちに、 その後、 英語が世界に広がるグローバル時代の中で、 日本語で書くことの意 もし

花開いた「日本近代文学」 国語として成立した「日本語」、

三村

されています。そしてさらに、 じレベルで機能するようになった「国語」の3つの概念に定義 条件を挙げられています。 めの「普遍語」、そしてその翻訳を通して現地語が普遍語と同 のように、書き言葉、として人類の叡智を広く蓄積し伝えるた 日常語である「現地語」、中世のラテン語や近代の英語 水村さんは『日本語が亡びるとき』の中で、 日本で国語が生まれた3つの 世の中の言

漢文訓読や万葉仮名、カタカナ・ひらがなを生み、「現地語 圏の一部となった日本では、漢文を日本語に翻訳するうちに、 て、「現地語」だった日本語が、明治維新後、「普遍語」である西 でも読み書きできるようになりました。その後の成熟期を経 4世紀に「普遍語」である漢文が中国から伝来し、漢文

たした

ン大学講師時代に授業を行った 大学東アジア学部の外観



ミシガン大学客員助教授時代。 大学院での日本近代文学の授業風景。写真中央が水村氏

福沢諭吉著『学問のすすめ』。

計17編から



まして 生きる川子實践上下の位的なり病的 工以親人小萬人告四

慶應義塾図書館所蔵

篤次郎との共著、洋紙両面活版刷)。 云へり」の一節は有名。 構成され、 人の上に人を造らず人の下に人を造らずと 写真はその初編(初編のみ小幡 一天は



郊外の自宅の前で

高校卒業後間もないころ、ニューヨーク

民地にならなかったことの三つの条件があると思います。そのおかげで「日本近代文学」が誕生しました。日本語が国語として成立した背景には、漢文圏にありながら中国とは海をとして成立した背景には、漢文圏にありながら中国とは海をして「印刷資本主義」が栄えていたこと、そして西欧列強の植し、「印刷資本主義」が栄えていたこと、そして西欧列強の植し、「印刷資本主義」が栄えていたこと、そして成立した。日本語が国語し、「印刷資本主義」が栄えていたこと、そして成立した。

三村 今のお話の中で、印刷資本主義のようなマーケットメカニズムが存在していたことが大きいという説は、ビジネスカニズムが存在していたことが大きいという説は、ビジネスースの感覚としてよく理解できます。明治5年に出版された書きになられていますが、当時の日本の人口が約3600万書きになられていますが、当時の日本の人口が約3600万書きになられていますが、当時の日本の人口が約3600万書きになられていますが、当時の日本の人口が約3600万字でする。

水村 当時の識字率を考えると、読める人たちのほとんどが水村 当時の識字率を考えると、読める人たちのほとんどが 当時の識字率を考えると、読める人たちのほとんどが まが ということでしょうか。当時、書物は難しいものとい

三村 そうして日本で国語が生まれて定着し、国語で書かれた『日本語が亡びるとき』は、私がこれまで知らなかったいくた『日本語が亡びるとき』は、私がこれまで知らなかったいく西洋の蓄積された叡智を求めて高価な物理書を塾生と回し読みしながら、寝食を忘れて懸命に学んだオランダ語が横浜でみしながら、寝食を忘れて懸命に学んだオランダ語が横浜であったく通じず、大きな衝撃を受けながらも当時普遍語になりつつあった英語を再度一から勉強し始めたということ。その努力はすごいですね。日本を近代国家にしなければならなの努力はすごいですね。日本を近代国家にしなければならないという強烈な使命感があったのでしょうね。

水村 その使命感が、英語という、新たに登場した普遍語に

文学の誕生と成熟をも促すことになりました。
な学の誕生と成熟をも促すことになりました。
は本近代で世界と同時に思考できる「国語」へと変貌を遂げ、日本近代で世界と同時に思考できる「国語」へと変貌を遂げ、日本近代で世界と同時に思考できる「国語」へと変貌を遂げ、日本近代で世界と同時に思考できる「国語」へと変貌を遂げ、日本近代で世界と同時に思考できる「国語」へと変貌を遂げ、日本近代で世界と同時に思考できる「国語」へと変貌を遂げ、日本近代で世界と同時に思考できる「国語」へと変貌を遂げ、日本近代で世界と同時に思考できる「国語」へと変貌を遂げ、日本近代で世界と同時に思考できる「国語」へと変貌を遂げ、日本近代で世界と同時に思考できる「国語」へと変貌を遂げ、日本近代で世界と同時に思考できる「国語」へと変貌を遂げ、日本近代で世界と同時に思考できる「国語」へと変貌を遂げ、日本近代で世界と同時に思考できる「国語」へと変貌を遂げ、日本近代で世界と同時に思考できる「国語」へと変貌を遂げ、日本近代で世界と同時に思考できる「国語」へと変貌を遂げ、日本近代で世界と同時に思考できる「国語」へと変貌を遂げ、日本近代で世界と同時に思考できる「国語」へと変貌を遂げ、日本近代で世界と同時に思考できる「国語」へと変貌を遂げ、日本近代の音楽を表現された。

村 夏目漱石もこの時代に活躍しましたね。

水村 漱石はお雇い外国人講師であるラフカディオ・ハーン(※ との後任として、東京帝国大学を飛び出し、在野で書く小の翻訳だけでは飽き足らずに大学を飛び出し、在野で書く小の翻訳だけでは飽き足らずに大学を飛び出し、在野で書く小の翻訳だけでは飽き足らずに大学を飛び出し、在野で書く小の翻訳だけでは飽き足らずに大学を飛び出し、在野で書く小のが変となり、近代文学の数々の名作を生み出していきました。う感覚がなく、水村さんの著書を読んで初めて知りました。方感覚がなく、水村さんの著書を読んで初めて知りました。 大たちが苦労して英語を学び、その中で日本語が国語として成立していったというようなことは忘却の彼方ですね。

水村 国民国家成立後の国語とは、あって当たり前のものにまたてしまうのです。ことに日本は国境争いでなどで苦労をしていませんから。昔、国語の授業で読んだ『最後の授業』(※3)していませんから。昔、国語の授業で読んだ『最後の授業』(※3)し、その運命は国家の運命や方針に左右されることが大きい。し、その運命は国家の運命や方針に左右されることが大きい。し、その運命は国家の運命や方針に左右されることが大きい。と、その運命は国家の運命や方針に左右されることが大きい。と、その運命は国家の運命や方針に左右されることが大きい。して苦労があって今我々の使っている日本語があることをうした苦労があって今我々の使っている日本語があることをうした苦労があって今我々の使っている日本語があることをうした苦労があって今我々の使っている日本語があることをうした苦労があって今我々の使っている日本語があることをうした苦労があって今我々の使っている日本語があることを



開国後の横浜。海外諸国を知る窓口となった

蓋』『怪談』ほか。
他して「小泉八雲」と名乗る。著書に『骨記者・小説家・随筆家・日本研究家。帰記者・小説家・随筆家・日本研究家。帰

語の「最後の授業」を終えた。 (※3) ドーデの短編小説集『月曜物語』の一編。普仏戦争 (1870~71年) でフランスが敗れアルザスがプロイセン王国領に。アメル先生が「Viva La France (フランス万歳)!」と黒板に書いて、フランス



挿絵より ドーデ著 『最後の授業』 (ポプラ社) に掲載の



びる」と言っても危機意識は生まれません。 もっと伝えたほうがいいですね。そうしないと「日本語が亡

国語としての日本語教育を基本に 部をバイリンガルとして育成

国民をバイリンガルにする、という三つの選択肢を提示され、 する、国民全員をバイリンガル(二重言語者)にする、一部の その中で、一部の国民のバイリンガル化を提唱されています おける英語教育について、現代の普遍語である英語を国語に 一方で「英語の世紀」とも言える今、水村さんは日本に

語を母語とする人間が、 本の言語的な孤立と無関係ではありません。ところが、日本 きましたが、問題は国際政治や外交の世界。 経済の世界では、流暢でない英語でも成果をあげることがで 国民総バイリンガル論には賛成できません。これまで 世界に向かって意味ある発言を英語 過去の戦争も日

> ます。そもそも劣等感を持つことはそんなに悪いことではな です。所得の再分配と翻訳文化の充実でそれは保たれると思 はない人との間に、 む平等社会を実現しようなどとすること自体危険だと思い に固執しすぎるからです。すべての人が劣等感を持たずにす もたちに劣等感を与えるなどという心配は、平等という観念 しかないと思うのです。英語教育に格差をつけることが子ど でできるようになるのは、並大抵のことではない。少数精鋭 います。 いと思いますし。 重要なのは英語に堪能な少数の人とそうで 経済的、 知的な差が大きく開かないこと

話する英語ではあまり問題はありませんが、複数メンバーに 普遍語になるのは仕方がないことです。私自身、 いのでしょうか。 とも思います。日本で総バイリンガル化を目指す教育は難し んなときは、なぜ日本が英語を国語にしてくれなかったのか と、英語で考えて話すときに発揮できるのは50~60程度。そ よるディベートは難しいですね。自分の能力を100とする **三村** インターネットの普及などで英語が全世界に流通する 1対1で会

語教育は国語の創設期に戻るのを基本とすべきです。例えば だと思います。そして、一方で、成熟した国語を持つ国とし 英語で世界各国と丁々発止やりとりができるよう教育すべき がありません。政治家や官僚、弁護士など一部の人たちが、 道を聞かれて答える程度の英語ができる人が大勢いても意味 語との距離も大きすぎます。総バイリンガル化を目指して、 子どもたちが見られるようにしたりしています。 イギリスならシェークスピアに戻る。国の教育方針だけでな て、まずはきちんと日本語を教育する。そしてそのための国 本では難しいと思います。また、西洋語ではない日本語と英 **水村** すでに成熟した国語を持つ上に、母語集団が大きい日 篤志家がシェークスピア劇の席を買い上げ、 恵まれない

語4時間、 日本の中学三年では国語の授業時間は英語より少ない(英 国語3時間)。西洋語圏ではふつう、 国語教育に5



Cambridge University Library 等を参考に作成

の植民地・海外領土だった国・地域を示す リスの植民地・海外領土となり、 16~17世紀以降、数多くの国や地域がイギ て英語を採用した。右図は、過去イギリス



© ADINA TOVY AMSEL/SEBUN PHOTO /amanaimages

でも、 くのを当然の教育理念とすべきではないでしょうか。 む訓練を通じ、 時間を割いています。日本語の教育が疎かになって確かな日 の伝統を理解できない人が増えていくということです。 本語の読み手が少なくなっていくことは、自国の文化や文学 漱石や一葉の時代の作品を子どもの頃から意識的に読 国語の古典としての近代文学を受け継いでい 日本

将来を見据えた取り組みを 日本全体で危機意識を共有

問題、 三村 見たとき今後どうなるのかという危機感が非常に大きい。 識の希薄さを痛切に感じています。高率な法人税や派遣労働の 海外に出て行けという政策になっています。日本全体として (環太平洋戦略的経済連携協定)への対応など、いわば製造業は 現在当社でもさまざまなプロジェクトを通じて海外で仕事 突出したCO^削減コミットメント、さらにはTPP 日本語の危機と同様に、私は今の日本における危機意

> 生産拠点を持つ国としての魅力が急速に薄れつつあるという 海外企業が進出するどころか、自国の製造業にとってすら、 で考えたときにためらいを感じているのも事実です。日本に 国内の雇用や地域との関係など、企業を超えて日本トータル だと思います。ただし一方で、当社に限らず多くの経営者は、 をすることを積極的に進めており、それ自体は合理的な方向 危機意識が共有されていないことが問題です。

たくない。でもその方向に動かざるを得ない現実がある。新 のですか。 日鉄は1985年のプラザ合意のとき、人員削減は行われた 員が気の毒です。従業員を大切にする日本企業は、そうはし レイオフ(解雇)を含めて確信犯的に合理化を図ります。従業 アメリカの企業は 「winner – take – all」という感じで、

あります。 残る人も出向する人も大切にして、社内からの反論はなかっ 善し悪しは企業哲学の問題です。少なくとも社員に対しては とんど失敗しました。結局多くのお金を使いましたが、その 重要な目的の一つは、従業員の生活を守り向上させることに た。それはそれでよかったと思っています。企業存立の最も やりませんでした。しかし、職場創出のための新規事業はほ への異動や新規事業の創出で人員を吸収し、レイオフは一切 しなければなりません。その際、別の職場(グループ企業など) 三村 生産量が落ち設備を大幅に止めれば、当然人員を削減

ギリスと違って、ドイツと日本ではレイオフが少ないようで 水村 2008年のリーマンショック以降も、 アメリカやイ

O

等の10%程度ということになります。また新規採用を大幅に 減らしたため若者が学校を卒業しても職がないという弊害も 算では600万人と言われていますが、社内失業が600万 生まれています。このことをどのようにお考えですか。 人いるということは、日本の失業率も実質的にアメリカと同 ただし、その実態の多くは社内失業です。内閣府の試

> 植物園内の屋外シェークスピア劇場 グローブ座 (左)。写真 (右) はイギリス王立 シェークスピアの戯曲が数多く初演された





写真: AP/ アフロ



© TRAVELPIX / SEBUN PHOTO /amanaimages

自由化を目指すTPPが提起され、現在日

太平洋経済協力) 会議での各国首脳。貿易

本国内で参加の是非が議論されている



その思いが伝わらず、結果的に危機感を持たないままの人間 思いますが、トップが苦労して雇用を守ろうとしても社員に 水村 従業員や地域を大切にする日本的経営は良いものだと を温存してしまう弊害も出てくるかもしれませんね。 **三村** そこが難しいところです。雇用にまで踏み込んだ聖域

経営者だけでなく、社員や地域、

産業界などを含め

でしょうか。 少子化対策は最も効果的な成長戦略だと思いますが、いかが で、現在進んでいる少子化に大きな危機意識を持っています。 本が強みとする「ものづくり立国」の足腰を強化していく上 また少し話は変わりますが、私は産業界の人間として、 日

厚い少子化対策に取り組んでいます。手当支給に加えて、子ど そうした国の将来を見据えた施策を検討せねばと思います。 の役員を女性にすることを義務付けています。日本でも早急に 候補の約5割を女性とすることや一部上場企業で一定割合以上 また少子化対策と関連する女性の就労問題でも、女性の政治や もが3歳になるまでの休職や復職後の地位も保証しています。 日本の4~5倍の財政を支出し、子ども2人以上、を奨励する手 す。ご存じのようにフランスでは、国や地域が約20年にわたり く高齢社会を迎える日本にとっては最も大きな問題だと思いま 経済界への進出を後押しする施策として、比例代表選挙で議員 先進国の出生率の低下は大きな問題で、なかでも最も早

幅広い視野から現状を捉え なすべきことを実行する2011年に

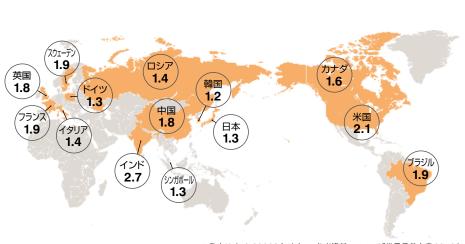
フランスでは少子化対策の効果もあり、

高

い出生率が維持されている

世界主要国の出生率

三村 国にも出たがらなくなってきています。 んどん出ていくべきだと思いますが、いかがでしょうか。 今日本人は外国の翻訳文学もあまり読まなくなり、 今後、危機意識を高める意味でも、日本人は外国にど 明治初期には、維新



参考資料: Unicef『世界子供白書2010』

やすい仕組みづくりが必要です。 とすい仕組みづくりが必要です。 の志士 を中心に、皆が海外へ出たがった。当時は国にも個の志士 を中心に、皆が海外へ出たがった。当時は国にも個の志士 を中心に、皆が海外へ出たがった。当時は国にも個の志士 を中心に、皆が海外へ出たがった。当時は国にも個の志士 を中心に、皆が海外へ出たがった。当時は国にも個の志士 を中心に、皆が海外へ出たがった。当時は国にも個の志士 を中心に、皆が海外へ出たがった。当時は国にも個

が、ますます重要になってくると思います。今後は海外を見た目で日本の現状を正確に捉えて考えること今後は海外を見た目で日本の現状を正確に捉えて考えることの派遣などを通して従業員の15%が海外経験をしています。

うなものなので、ある程度若いうちから学ぶのが重要です。階から取り組む必要があるでしょう。特に言葉は運動神経のよときにはすでに22歳。少数精鋭の人材の育成には、その前の段水村 15%は悪い数字ではないと思います。しかし企業に入る

三村 先日、国際会議で「日本人は教育レベルが高く従業員は真面目で一生懸命働くし、技術レベルも高い。しかも背後は真面目で一生懸命働くし、技術レベルも高い。しかも背後には成長するアジアがあるのに、なぜ国として元気がないのか」と聞かれて答えに窮しました。またどこの国も「国益」をか」と聞かれて答えに窮しました。またどこの国も「国益」をか」と聞いた言葉はなかなか出てきません。

水村 日本では戦後知識人の間で「国家」を語ることがタブーでした。今は「国家」に関して思考する若い世代が出てきていますが、思考を停止したままこれまで60年間やってきた。いますが、思考を停止したままこれまで60年間やってきた。い益」を考えないで誰が考えてくれるのか。日本は「国益」が必益」を考えないで誰が考えてくれるのか。日本は「国益」が必益」を考えないで誰が考えてくれるのか。日本は「国益」を射程に入れて行動していただければと思います。

受けることになりますし、特に当社のような企業では、国が三村 国益に叶わないことをやると長期的にはしっぺ返しを

(この対談は、2010年11月8日、当社南平台公邸で行われました)

ないのは歯がゆいですね。 だけを闇雲に考えるのではなく、周辺に与える影響を考えだけを闇雲に考えるのではなく、周辺に与える影響を考え発展すると企業も発展します。イギリスの大使が自分のこと

水村 ことに文学者は、市場があるから小説が流通し、安定 水村 ことに文学者は、市場があるからです。私たちはすの自由が国家によって保障されているからです。私たちはすの自由が国家によって保障されているからです。私たちはする ことに文学者は、市場があるから小説が流通し、安定 水村 ことに文学者は、市場があるから小説が流通し、安定 おお ことに文学者は、市場があるから小説が流通し、安定 おお ことに文学者は、市場があるから小説が流通し、安定 おお ことに文学者は、市場があるから小説が流通し、安定 おお ことに文学者は、市場があるから小説が流通し、安定 おおいます。

いかがでしょうか?

一村 また今後海外で仕事をする必要があると思いますが、

水村 国際的に活躍する人には、リベラルアーツ(一般教養) いるような書籍を、日本にせっかくある翻訳文化を利用し、いるような書籍を、日本にせっかくある翻訳文化を利用し、いるような書籍を、日本にせっかくある翻訳文化を利用し、いるような書籍を、日本にせっかくある翻訳文化を利用し、いるような書籍を、日本にせっかくある翻訳文化を利用し、できるだけ読んでいただければと思います。

英語研修に取り組む新日鉄社員今後の海外でのグローバルな活躍に向けて

バル体制を目指す日本・アジア・環大西洋圏の世界3極グロー日本・アジア・環大西洋圏の世界3極グロー